

**平成21年度「市政懇話会」  
第1回「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」部会議事概要**

1 日 時 平成21年8月28日(金)午後3時10分～4時00分

2 場 所 鳥取市役所本庁舎4階第4会議室

3 出席者 【委員】兼田 肇委員 川上一郎委員 清水昭允委員  
山崎祥次委員 田中仁成委員 山本朝子委員  
谷口博文委員 山本大順委員  
【鳥取市】杉本経済観光部長  
【事務局】平田

4 議事概要

(1) 部会長・副部会長選出について

部会長 清水 昭允 氏

副部会長 田中 仁成 氏

(2) 協議・説明内容

「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」を部会テーマに選定した理由等について(事務局)

- ・第8次鳥取市総合計画の基本構想では「広域交流観光の展開」を掲げている。
- ・「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」の検討について平成21年2月議会提案説明している。
- ・鳥取自動車道、鳥取港、鉄道の主要駅、鳥取空港と、陸海空の重要施設が極めて隣接して位置する類まれな交通の要衝である。
- ・鳥取自動車道の開通を迎える今こそ、この環境を最大限活かし、アジアの成長と活力を本市へ取り込み、新たな創造と成長を実現する地域戦略を展開することが必要である。
- ・関西広域連合の設立も視野に入れながら関西圏との連携を格段に高める中で、アジアに開かれた鳥取市を具体化するために、本市を北東アジアの玄関口と明確に位置づけ、物流の拠点としての機能を高めることが重要である。

鳥取市における現在の取組みについて(事務局)

- ・鳥取市長の「第15回環日本海拠点都市会議」への参加について
- ・鳥取市工業団地の整備状況について
- ・北東アジア地域への新アクセス等について

「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」展望等について

- ・北東アジアの資源は豊富であり、今後、日本の技術力が必要になる。
- ・姫鳥線ができたばかりなのに、道 空港・港となると視点が 180 度変わるのでまず「アジアゲートウェイ」の言葉を広めること。
- ・物流には「物」がいる。「物」はどうするのか。
- ・鳥取として目を向けてもらえるものは何か、今ある資源を今ある物差しで測ることが大切。
- ・県のビジョンとしてはすんなり入る。しかしそれは境港があるからであり、鳥取市としては「？」となるとピンとこない。
- ・例として、大学生の交流から進めてみてはどうか。大学生なら弾丸ツアーとなる DBS でも耐えられる。実績づくりなら高・大学生、そこから友好交流へと繋げる。
- ・この部会は息の長い部会となる。それぞれの分野で情報を集める必要がある。
- ・当面は境港を起点とし、それをいかに活用するかを考える。

### (3) その他

次回、部会開催までに、より多くの情報を収集し提供する。

### 5 配布資料

「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」

鳥取市長の「第 15 回環日本海拠点都市会議」への参加について

鳥取市工業団地の整備状況

北東アジア地域へ！新しい発見の旅！

新たな国際定期船 (DBS Cruise Ferry) の旅 <境港～韓国・東海～ロシア・ウラジオストク>